

学校へ行こう

平成20年に新しくなった学校名のプレートの前に集合



図書館に行こう

- 夜のおはなし会を開催します
- 日時 3月13日(土)、午後6時半～7時半ころ
- 場所 串間市立図書館2階
- 問い合わせ先 串間市立図書館 ☎72-11177
- 開館 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日

【今月の新刊】

イ ソップを知っていますか (阿刀田高) プリムストーンの激突 (ロバート・B・パーカー) 妻を看取る日 (垣添忠生) 北帰行 (佐々木護) 千年の恋人たち (稲葉真弓) 虚ろ舟 (宇江佐真理) 帰り道が消えた (青山真治) 誰かがそれを (佐伯 麦太陽の村 (朱川湊人) トギオ (太朗想史郎) 故郷のわが家 (村田喜代子) 東京アクアリウム (小池真理子) 陰陽師 (夢枕獏) 回廊の陰翳 (広川純) 虚報 (堂場瞬一) オール・マイ・ラヴィング (岩瀬成子) 神様のすること (平安寿子) Nのために (湊かなえ) メモリー・ラボへようこそ (梶尾真治) 蒼き信長 (安部龍太郎) 小説新井白石 (童門冬二) キケン (有川浩) カッコウの卵は誰のもの (東野圭吾) 月光の刺客 (森村誠一) 岐阜羽島駅25時 (西村京太郎) 白鷗「山」を越える男 (熊ヶ谷誠志) 大人の切り紙のほん (矢口加奈子)

3月のテーマ展示

「ベストリーダー」



2009年を振り返って串間市立図書館でよく読まれた本ベスト20を一般文学、児童文学、その他一般書にわけて紹介します。串間市民に愛された本をあなたも読破してみませんか？ ちなみに第1位は「聖女の救済/東野圭吾」でした。

ワ

ンガリの平和の木 (アフリカでほんとうにあったおはなし)



9本の苗木が3,000万本になったグリーンベルト運動を、詩的な文章と美しいイラストで綴ります。ふるさとアフリカのケニアに緑を取り戻すために立ち上がったワングリ・マータイの伝記絵本。ノーベル平和賞受賞

数

えすの井戸



数えるから、足りなくなる。京極夏彦による、はかなくも美しい、もうひとつの「皿屋敷」。静ひつで流麗な筆致で綴られる、これまでのどの皿屋敷伝説とも違う「真実」とは。怪談となった江戸の「事件」を独自の解釈で語り直す。

交流員レポート

第8代国際交流員ジュリアンの日本体験記

串間市立金谷小学校(西富哲哉校長・児童数30人、職員数9人)は明治7年創立の歴史と伝統のある学校です。子どもたちの日課が、子どもたちには朝の日課があります。登校するとまず、玄関に日替わりで掲示してある百人一首を大きな声で3回繰り返し読みます。続いて計算問題を2問。問題を見事クリアすると次は縄跳び。それぞれが設定した目標に挑戦します。それが終わると最後は運動場のトンボ掛け。運動場をぐるりと一周、トンボで整備して朝の日課は終了、教室へと向かいます。

くしまっ子読もうよ100冊コーナ― 読書活動にも力を入れていきます。図書室には「くしまっ子読もうよ100冊コーナ―」を

Spring 春

This month's expression
今月の表現

○○ Feels good
○○は気持ちいい

Example: Bare feet feels good
例: はだしは気持ちいい



ニュージーランドでの夏。

最 近暖かくなってきましたね。九州は春が早いんですね、すでに梅の花を見かけるようになりました。春は暖かくてうれしいのですが、花粉がむかつきますね。日本にいた時は花粉なんて他人事だったのでですがニュージーランドに帰って2年ほどして花粉症になりました。目薬が手放せない状態です。春が来たということは夏も近くなってきたということですね。正直蒸し暑さが怖いですがその一方、楽しいことがたくさんあるのでワクワクします。ニュージーランド人は夏が大好き。バーベキューシーズンですからね。自分が持っているニュージーランドの夏のイメージは、バーベキューにビールそしてはだしと芝生。「Back yard cricket」裏庭クリケットも夏の定番です。クリケットを知らない人がほとんどだと思うのですが、今説明すると長くなるので興味がある方は調べてみてください。単純に言えば野球みたいなものですが玉を投げるときにワンバウンドさせます。ニュージーランドではラグビーの次に人気のあるスポーツです。



みんなで協力し合う子どもたち

児童数は多くありませんが、何でもみんなで協力し合います

自分たちの学校をきれいに



朝のトンボ掛け

本文中でも触れましたが、金谷小学校児童には朝の日課の一つに運動場のトンボ掛けがあります。自分たちの学校をきれいにしようと、子どもたちが率先して行っています。3年生以上の児童で行うのが基本ですが、1・2年生も自ら進んでトンボを握り運動場をひと回り。冬の冷たく寒い時でも、子どもたちは自分たちの使う運動場をきれいにしようと一生懸命に取り組んでいます。みんなが使い込んだ木製のトンボは壊れてしまったため、学校では新しく金属のものを購入しました。子どもたちはこの活動で、自分たちの学校を大切にすることを育てています。

設置。低学年80冊、中学年70冊、高学年60冊の年間目標を設定しています。また、月1回の先生による読み聞かせや、週1回「家族読書」の日を設けることで、家庭でも家族で読書に取り組むようにしています。

地域との交流
地域との交流も積極的です。学校近くにある老人ホームでは、敬老会での歌の発表や芋掘り体験などで高齢者の皆さんと交流します。また、運動会で金谷地区の盆踊りを披露するため、保存会の皆さんから踊りを教わったり、地区の盆踊りに参加したりと交流しています。児童数は決して多くはありませんが、その分上級生も下級生も一緒になって何でも協力し合っています。金谷小学校の子どもたちは、そんな優しさや自主性をもった子どもたちなのです。